

1. 査読者申し込み

【更新ポイントの注意事項】

本システムで査読を行った場合、査読者の更新申請に必要な査読ポイントの証明書類の保存は不要となります。

但し申請時にポイント申請される際には、査読した件数を申告してください。

【査読者】

1. 認定訪問療法士 ID でログイン
2. 該当研修会ページを選択
3. 査読者登録ボタンをクリック
4. 確認メッセージの OK をクリック

The screenshot shows a web browser window with a confirmation dialog box overlaid on top. The dialog box contains the text: "houmon.kir.jp の内容 査読者登録いたしますか？" and two buttons: "OK" and "キャンセル". Below the dialog box, the website content is visible. It includes a header with the logo of "一般社団法人 日本訪問療法士協会" and a navigation menu. The main content area is titled "研修・大会案内詳細情報" and features a section for "審査会テスト認定審査11月3日". This section includes a table with the following information:

開催日	
2020年11月03日(火)	～ 2020年12月01日(火)

開催時間	
18:35	～ 18:35

参加メンバー: テスト 法人2さん, テスト 法人1さん

登録順最新10名表示=>参加者一覧表示

A red arrow points to a green button labeled "査読者登録" located at the bottom right of the page.

右下の【査読者登録】ボタンを押すと上部に確認メッセージが表示されます。

5. 認定訪問療法士以外の ID では下記のように登録ボタンが表示されません。

研修・大会案内詳細情報

→テスト認定審査

開催月日	2020年09月13日(日) ~ 2020年10月01日(木)	スケジュール	更新情報
開催時間	10:15 ~ 10:15		

PageTop ↑

スケジュール

PageTop ↑

更新情報

更新情報最新5件表示=>更新情報一覧表示

PageTop ↑

6. 一度査読者として登録すると二重登録できません

査読者登録した ID でログインし該当ページを表示しても下記のように登録済みの表記

研修・大会案内詳細情報

→テスト認定審査

開催月日	2020年09月13日(日) ~ 2020年10月01日(木)	スケジュール	更新情報
開催時間	10:15 ~ 10:15		

参加メンバー test no1さん

登録順最新10名表示=>参加者一覧表示

田辺 no1さんは査読者登録済みです。

PageTop ↑

スケジュール

PageTop ↑

更新情報

更新情報最新5件表示=>更新情報一覧表示

PageTop ↑

2. 査読の実施

【査読者】

1. 査読者に登録したIDでログイン後、該当研修会ページにすすむ
2. 【査読開始】ボタンをクリック

研修・大会案内詳細情報

→審査会テスト認定審査11月3日

| スケジュール | 更新情報 |

開催月日 2020年11月03日(火) ~ 2020年12月01日(火)

開催時間 18:35 ~ 18:35

参加メンバー テスト 法人2さん テスト 法人1さん

登録順最新10名表示=>参加者一覧表示

査読開始

3. 担当する抄録が表示される
 査読ボタンをクリックする

研修・大会案内詳細情報

→ 査読一覧：査読大会

ID	任命日	タイトル	タイプ	操作
1	2020/12/01	脳卒中患者に対する訪問リハビリテーションサービスの見直しの必要性について	一般演題	査読
2	2020/12/01	当院回復期リハ病棟退院患者における当業所の訪問リハを利用しなかった患者の要因に関する実態調査	一般演題	査読
4	2020/12/01	訪問療法士のOn the Job Trainingにおける到達目標の作成	一般演題	査読
6	2020/12/01	生活機能向上連携加算を用いた利用者支援の実際	一般演題	査読

4. 査読画面（下記図の左が上、右が下半分を示す）

研修・大会登録&編集

→ 活動報告書 査読審査票

発表形式	口述発表
演題名	脳卒中患者に対する訪問リハビリテーションサービスの見直しの必要性について
本文	[目的]脳卒中患者において、発症後6カ月がプラトーになる目安と報告されている。訪問リハビリテーション(リハ)は、心身機能の維持向上を図り、日常生活の自立を助けるために行われるリハと定義されている。今回、回復期リハ病棟退院後に訪問リハを利用した脳卒中患者における、ADLの経時的変化を調査し、訪問リハのあり方について検討した。[対象]2014年7月から訪問リハを開始し、2018年6月までに終了した患者250名のうち、当院回復期リハ病棟から在宅転出し、訪問リハを1年以上利用して終了した脳卒中患者16名(男性11名、女性5名、年齢66.0±14.2歳)を対象とした。回復期回復期リハ病棟入棟時、退院時、訪問終了時の8時点におけるFIMの点数を算後、Bonferroniの不等式にあてはめ、1床で得たデータで構築されたデータ74.8±20.0点、7105.9±18.6点、710110.9±14.7点、7110.5±14.4点、71なった群であることが示された(p&lを認めた(p&l;0.05)。なお、訪問リハ後1年間のADLの経時的な変化では、改善を認めたが、それ以降は改善を認め、集中した入院のリハに限らず、在回復期リハ病棟退院後に訪問リハをすと短い。これは、訪問リハがADL性を示唆するものである。我々は、訪問リハに依存しないためにも終了にすを目的に介入するのであれば、発症力になると考える。[倫理的配慮、説明と当法人ホームページにて研究情報をは当法人倫理委員会の承認を受けて

以下のチェック項目を満たしていれば、欄に チェックを入れて下さい。

査読項目	<input type="checkbox"/> 本学会の趣旨に沿っている <input type="checkbox"/> 演題名が内容に対して適切である <input type="checkbox"/> ヘルシンキ宣言に則り、倫理的事項が遵守されている <input type="checkbox"/> 問題の設定や研究方法・研究対象が妥当である <input type="checkbox"/> 矛盾・飛躍・重大な誤りがなく、読者からみて信用がおける <input type="checkbox"/> 用語や文章表現に誤りがなく、記述は読みやすい
総合評価	5段階のうち、該当するものを選択してください。 <input type="text" value="劣っている"/>
講評 ※	講評内容はそのまま投稿者本人に通知されますので、建設的なご意見をお願いします。 条件付採用の場合、具体的にどこを修正した方が良いかをご記入下さい。 評価5・4・3の場合も新規性・有用性の有無をどのように評価したのか等、ご意見があればご記入下さい。

※のついた箇所は必須になります。

スクロールして査読してください。
 各項目を入力し入力内容の確認ボタンを押す

5. 下記の確認画面で【登録する】を押す

研修・大会登録&編集

→活動報告書 査読審査票

以下のチェック項目を満たしていれば、欄にチェックを入れて下さい。

査読項目

- 本学会の趣旨に沿っている
- 演題名が内容に対して適切である
- ヘルシンキ宣言に則り、倫理的事項が遵守されている
- 問題の設定や研究方法・研究対象が妥当である
- 矛盾・飛躍・重大な誤りがなく、読者からみて信用がおける
- 用語や文章表現に誤りがなく、記述は読みやすい

総合評価

5段階のうち、該当するものを選択してください。 大変優れている

講評 ※

講評内容はそのまま投稿者本人に通知されますので、建設的なご意見をお願いします。
条件付採用の場合、具体的にどこを修正した方が良いのかご記入下さい。
評価5・4・3の場合も新規性・有用性の有無をどのように評価したのか等、ご意見があればご記入下さい。
ああああ

登録する

戻る

査読一覧へ戻る

6. 登録すると下記の画面に戻る

期間中査読のやり直しが行えます。担当する報告書について査読を行ってください。

研修・大会案内詳細情報

→査読一覧：査読大会

ID	任命日	タイトル	タイプ	操作
1	2020/12/01	脳卒中患者に対する訪問リハビリテーションサービスの見直しの必要性について	一般演題	査読
2	2020/12/01	当院回復期リハ病棟退院患者における当事業所の訪問リハを利用しなかった患者の要因に関する実態調査	一般演題	査読
4	2020/12/01	訪問療法士のOn the Job Trainingにおける到達目標の作成	一般演題	査読
6	2020/12/01	生活機能向上連携加算を用いた利用者支援の実践	一般演題	査読

期間中何度でも上書きで審査内容を変更することができます。

●発表形式

発表形式には、口述発表とフレッシュャーセッションの別が表示されます。

研修・大会登録&編集

→活動報告書 査読審査票

発表形式	口述発表
演題名	当院回復期リハ病棟退院患者における当事業所の訪問リハを利用しなかった患者の要因に関する実態調査
本文	【はじめに】当院は急性期病棟(267床)、回復期リハ病棟(50床)の他、訪問リハビリテーション(以下、訪問リハ)事業所を有し、訪問リハ事業所は主に当院を退院する患者を対象としている。当該訪問リハ事業所(以下、当事業所)の運営において、当院回復期リハ病棟から退院

研修・大会登録&編集

→活動報告書 査読審査票

発表形式	口述発表(フレッシュャーセッション)
演題名	事業実践から考える訪問リハビリテーションの課題と可能性
本文	【目的】 訪問リハビリテーション(以下、訪問リハ)は医療・介護分野の居宅サービスの一つであり、介護保険認定者の自立支援と重症化予防を期待されているにも関わらず、その利用率は